

凡例

一、本資料集は、東京大学事務局および同大学附属総合図書館に所蔵されている諸史料のうち、明治四年（一八七二）から昭和十二年（一九三七）に至る本学関係の史料を調査・収集し、編集したものである。

一、史料の収録にあたっては、できるかぎり史料の原形をとどめるように留意したが、以下の点については改めた。

一、史料の表題は、その内容にそくして適宜付し、表題の下に「」を付して年月日を記入した。

一、漢字は常用漢字表を使用し、常用漢字表にない漢字と人名については原文通りとした。

一、仮名は現字体の文字を使用し、仮名づかい・送り仮名は原文通りとした。

一、合字・当て字は原文通りとした。

一、下札・欄外の書き入れは、その部分に（下札）・（欄外注記）を付し、史料の末尾に記した。

一、抹消・朱書の部分は、「」でその部分をかこみ、右肩に（抹消）・（朱書）と記した。

一、史料中に疑義が生じた場合は、適宜右肩に（ママ）を付し、明らかな誤りと思われるものについては右肩に（）を付して訂正した。

一、史料の欠損などの判読不能部分については、字数のわかるものは□、わからないものは□□で示した。

一、史料の省略については、（前略）・（中略）・（後略）と記した。

一、公印はすべて印と記した。私印については印と記し、右肩に（）を付して人名を記した。写しの印については印と記した。

一、史料の末尾に「」を付し、出典を記した。㊦は東京大学事務局所蔵資料をあらわし、㊧は同大学附属総合図書館所蔵資料をあらわしている。